



平成24年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年12月7日

上場会社名 株式会社 ながの東急百貨店 上場取引所 大
 コード番号 9829 URL http://www.nagano-tokyu.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中島 雅之
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括部担当部長 (氏名) 島田 芳雄 (TEL) 026-226-8181
 四半期報告書提出予定日 平成23年12月8日 配当支払開始日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年1月期第3四半期の連結業績(平成23年2月1日～平成23年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年1月期第3四半期	17,213	0.3	242	19.2	205	22.2	83	△0.0
23年1月期第3四半期	17,154	△0.7	203	510.5	168	—	83	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年1月期第3四半期	8.66	—
23年1月期第3四半期	8.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年1月期第3四半期	18,879	7,430	39.2	771.53
23年1月期	18,495	7,378	39.7	766.05

(参考) 自己資本 24年1月期第3四半期 7,397百万円 23年1月期 7,345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年1月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年1月期	—	0.00	—	—	—
24年1月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年1月期の連結業績予想(平成23年2月1日～平成24年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,839	△0.0	381	13.5	273	19.2	115	1.8	12.02

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 無

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年1月期3Q	9,645,216株	23年1月期	9,645,216株
24年1月期3Q	57,533株	23年1月期	55,967株
24年1月期3Q	9,588,340株	23年1月期3Q	9,591,866株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第3四半期連結累計期間】	6
【第3四半期連結会計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年3月11日に発生した東日本大震災および福島原発事故の影響による景気の停滞から回復の兆しが見られたものの、長引く円高や株価の低迷、さらに欧州の財政危機や米国の景気停滞等の海外経済の不安要素の影響により、依然として不透明な状況で推移いたしました。

百貨店業界におきましては、震災による生産・消費への影響が概ね収束し、消費マインドの回復を受けて、4月以降は宝飾品等の高額商品が好調な伸びを示したものの、9月から10月中旬にかけての厳しい残暑などの天候不順の影響により、秋冬物衣料等の主力の季節商材が苦戦を強いられるなど、売上高は足踏み状態のままほぼ前年並みの水準で推移いたしました。

このような環境のもとで当社は、真の「お客様第一」の実現に向け、全社一丸となって取り組んでまいりました。当社は本年、長野駅前開店45周年をむかえ、地元情報誌やテレビ局とのタイアップ企画による食品催事を始め、話題性のある魅力的な新規催事を積極的に展開し、売上高の向上に努めてまいりました。

また、収支面におきましては、経費全般にわたり費用対効果を見極めた経費管理を徹底し、諸経費の削減に更に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は17,213百万円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益242百万円（前年同四半期比19.2%増）、経常利益205百万円（前年同四半期比22.2%増）、四半期純利益83百万円（前年同四半期比0.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や売掛金、さらに商品在庫の増加により、前連結会計年度末に比べ383百万円増加して18,879百万円となりました。

負債は、主に仕入債務の増加により、前連結会計年度末に比べ331百万円増加して11,448百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べ51百万円増加して7,430百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて131百万円増加して730百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益183百万円に減価償却費365百万円、売上債権の増加額350百万円、たな卸資産の増加額147百万円、仕入債務の増加額270百万円等を調整し、390百万円の収入となり、前年同四半期に比べ、2百万円の収入増となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得による支出により81百万円の支出となり、前年同四半期に比べ69百万円の支出増となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長短借入金の純減92百万円により178百万円の支出となりました。前年同四半期に比べ、長期借入金の返済による支出の減少等により122百万円の支出減となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績等に基づき検討した結果、通期の連結業績予想につきましては、前回発表時(平成23年9月2日)の予想を変更していません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は1,132千円、税金等調整前四半期純利益は14,527千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は29,048千円であります。

(表示方法の変更)

四半期連結損益計算書関係

前第3四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めていた「商品券回収損引当金繰入額」は、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することとしております。なお、前第3四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「商品券回収損引当金繰入額」は11,122千円であります。

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	732,032	600,435
受取手形及び売掛金	1,370,493	1,020,392
商品	1,327,442	1,181,439
原材料及び貯蔵品	27,862	26,855
繰延税金資産	95,806	126,731
その他	82,417	110,619
貸倒引当金	△17,744	△7,319
流動資産合計	3,618,312	3,059,156
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,498,445	4,761,558
土地	9,530,076	9,530,076
その他（純額）	335,750	227,134
有形固定資産合計	14,364,272	14,518,768
無形固定資産		
投資その他の資産	202,811	221,013
投資有価証券	97,119	101,507
繰延税金資産	270,575	266,055
敷金及び保証金	177,217	178,094
その他	166,305	169,926
貸倒引当金	△17,300	△19,000
投資その他の資産合計	693,918	696,583
固定資産合計	15,261,001	15,436,365
資産合計	18,879,314	18,495,521
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,716,954	1,447,255
短期借入金	5,615,000	5,605,000
未払法人税等	53,614	56,217
商品券	929,021	886,311
賞与引当金	103,008	26,476
商品券回収損引当金	76,085	194,401
その他	1,575,566	1,485,510
流動負債合計	10,069,250	9,701,171
固定負債		
長期借入金	62,500	165,000
再評価に係る繰延税金負債	264,112	264,112
退職給付引当金	648,660	631,165
長期預り保証金	103,125	103,125
資産除去債務	29,422	—
その他	271,618	252,216
固定負債合計	1,379,439	1,415,619
負債合計	11,448,690	11,116,790

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,368,299	2,368,299
資本剰余金	2,916,697	2,916,697
利益剰余金	1,753,948	1,699,671
自己株式	△16,462	△16,159
株主資本合計	7,022,483	6,968,509
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,857	△12,242
土地再評価差額金	389,630	389,630
評価・換算差額等合計	374,772	377,388
少数株主持分	33,366	32,833
純資産合計	7,430,623	7,378,731
負債純資産合計	18,879,314	18,495,521

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年10月31日)
売上高	17,154,087	17,213,510
売上原価	13,074,545	13,170,136
売上総利益	4,079,541	4,043,374
その他の営業収入	139,008	137,447
営業総利益	4,218,550	4,180,821
販売費及び一般管理費	4,015,179	3,938,441
営業利益	203,370	242,379
営業外収益		
受取利息	277	179
受取配当金	1,280	1,326
債務勘定整理益	8,773	12,681
その他	12,231	3,118
営業外収益合計	22,562	17,305
営業外費用		
支払利息	34,347	32,469
商品券回収損引当金繰入額	—	12,113
その他	23,564	9,727
営業外費用合計	57,912	54,310
経常利益	168,021	205,375
特別利益		
固定資産受贈益	2,348	2,080
特別利益合計	2,348	2,080
特別損失		
固定資産売却損	11,181	—
固定資産除却損	10,750	11,041
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,395
その他	7,594	—
特別損失合計	29,525	24,437
税金等調整前四半期純利益	140,843	183,018
法人税、住民税及び事業税	4,976	71,262
法人税等調整額	52,539	28,177
法人税等合計	57,515	99,440
少数株主損益調整前四半期純利益	—	83,578
少数株主利益	244	533
四半期純利益	83,083	83,044

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年8月1日 至平成22年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年8月1日 至平成23年10月31日)
売上高	5,777,277	5,845,363
売上原価	4,398,233	4,466,081
売上総利益	1,379,043	1,379,281
その他の営業収入	46,978	46,989
営業総利益	1,426,021	1,426,271
販売費及び一般管理費	1,375,486	1,348,788
営業利益	50,535	77,483
営業外収益		
受取利息	124	84
債務勘定整理益	3,668	6,528
その他	1,169	1,001
営業外収益合計	4,962	7,614
営業外費用		
支払利息	10,670	10,200
商品券回収損引当金繰入額	5,841	6,258
その他	3,750	3,126
営業外費用合計	20,263	19,585
経常利益	35,235	65,511
特別利益		
固定資産受贈益	275	230
特別利益合計	275	230
特別損失		
固定資産売却損	11,181	—
固定資産除却損	3,866	5,289
その他	1,050	—
特別損失合計	16,097	5,289
税金等調整前四半期純利益	19,412	60,452
法人税、住民税及び事業税	1,725	40,744
法人税等調整額	9,923	△8,053
法人税等合計	11,648	32,690
少数株主損益調整前四半期純利益	—	27,762
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△73	36
四半期純利益	7,838	27,725

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成22年2月1日 至 平成22年10月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	140,843	183,018
減価償却費	324,693	365,886
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,127	8,725
賞与引当金の増減額(△は減少)	46,594	76,532
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,580	17,495
商品券回収損引当金の増減額(△は減少)	△110,088	△118,315
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,395
受取利息及び受取配当金	△1,558	△1,505
支払利息	34,347	32,469
有形固定資産売却損益(△は益)	11,181	—
有形固定資産除却損	10,823	11,061
会員権評価損	5,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	△343,921	△350,101
たな卸資産の増減額(△は増加)	△171,028	△147,347
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△8,728	26,905
仕入債務の増減額(△は減少)	319,503	270,071
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,890	134
その他の流動負債の増減額(△は減少)	78,899	96,840
その他	20,592	3,607
小計	381,753	488,872
利息及び配当金の受取額	1,555	1,505
利息の支払額	△33,905	△31,996
役員退職慰労金の支払額	△30,161	—
法人税等の支払額	△5,104	△67,438
法人税等の還付額	74,219	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	388,356	390,942
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,740	△75,486
有形固定資産の売却による収入	2,398	—
無形固定資産の取得による支出	—	△6,560
差入保証金の差入による支出	△186	—
差入保証金の回収による収入	509	870
預り保証金の返還による支出	△3,315	—
預り保証金の受入による収入	916	—
その他	20,103	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,312	△81,177
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	120,000	70,000
長期借入金の返済による支出	△371,160	△162,500
自己株式の取得による支出	△846	△302
配当金の支払額	△28,862	△28,876
リース債務の返済による支出	△20,142	△56,489
財務活動によるキャッシュ・フロー	△301,011	△178,168
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	76,032	131,596
現金及び現金同等物の期首残高	675,291	599,292
現金及び現金同等物の四半期末残高	751,324	730,888

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成22年8月1日至平成22年10月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成22年2月1日至平成22年10月31日)

当社グループは、商品の種類、販売市場の類似性から判断して、単一の事業であるため、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成22年8月1日至平成22年10月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成22年2月1日至平成22年10月31日)

在外連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成22年8月1日至平成22年10月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成22年2月1日至平成22年10月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成23年2月1日至平成23年10月31日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成23年8月1日至平成23年10月31日)

当社グループの報告セグメントは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末と比較して著しい変動はありません。